

# 夏 祭 り

昭和44年度鹿屋市恒例の祇園祭りは7月26日午後6時からの八坂神社の前夜祭で幕開けをした。午後7時からは北田公園で演芸大会を催した。北田、西原、本町、寿、向江、共栄、自衛隊、パー組合、その他の地区より2組以上、市役所より1組が出場した。

明けて27日は、ご神幸パレード、名物ばか踊りがねり歩き町は終日お祭り気分であつた。この日は午前9時から八坂神社で出御祭をした後、10時からご神幸が出発した。本部みこしを先頭に各地区の子どももみこしや趣向をこらした山車(だし) 仮装宣伝車約10台が市内をパレードした。みこし隊は沿道からバケツやホースで浴びせられる水でずぶぬれになりながら、かんかん照りの中をねり歩いて氣勢をあげる。また仮装宣伝車の中にはアポロ11号の月着陸にちなみ模型の月ロケットと宇宙服をきた飛行士をのせた車もあり見物客の人気をよび午後5時鹿屋駅前を出発した「名物ばか踊り」が市中をねり歩くとお祭り気分は最高潮にたつする。踊りは各地区の振興会、婦人会、通り会、市役所、自衛隊など13チーム(1チーム6人以上) およそ1000人が参加、各チーム思い思いの花やかな衣装で市内約2キロメートルのコースをおどりまくり夕ぐれの町を色どる。市役所チームの先頭には市長が立ち市民からかっさいをあびた。

この日の人出はのべ5万人で本町、北田町の中央通りはごった返し夜店も出て景気をそえる。またパレードのコースには鹿屋ボーイスカウトの団員たちが出勤し参加者に冷たいお茶をサービスする。

最終日の28日には午前10時から海上自衛隊佐世保音楽隊の市中パレードや、午後8時からは夏の夜空を色どる花火大会が中央公園(旧池ノ上)でおこなわれた。

共栄町の神田政臣さんの思い出ばなし

夏祭り「鹿屋ばか踊り」について

鹿屋の祇園祭に「鹿屋ばか踊り」が登場し、約300人の踊り子が街をねり歩いたのは昭和38年であった。それから5年、昨年は700人の男女がところせましと踊り回る程に盛大になって来た。今年はまだまだにぎやかになるだろう。

【出典：不明】



昭和44年 山車